

# 第2回基本構想推進区民協議会での検討事業

## 目次

134	地域活動センターの整備 .....	1	頁
196	公園再整備事業 .....	2	頁
221	防災拠点としての学校（園）の機能強化 ...	3	頁
248	公有財産の有効活用 .....	4	頁

# 平成27年度 事務事業評価表【B様式】

1 事業の概要			
事業番号	134	事業名	地域活動センターの整備
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		地域コミュニティ
個別計画			
所 管	区民部	区民課	
目的	区民サービスコーナー、ふれあいサロン事業の拡充、立ち寄りスペース業務、安心・安全まちづくり事業、環境・高齢福祉施策などの事業を実施し、地域の相互交流を促進するとともに、地域コミュニティの活性化を図る地域の拠点施設とするため、地域活動センターの建替えを進めていきます。		
手段	近隣施設の複合化を中心に建替えを進めます。大原は、子育て施設と併設（千石1丁目へ移転）し、千石交流館の機能を複合化します。向丘は、第六中学校と併設し、アカデミー向丘との複合施設として整備します。礪川は、高齢者あんしん相談センター分室と併設し、音羽は、福祉センター跡地の介護老人保健施設と併設します。なお、大塚は引き続き複合化の検討を行っていきます。		
2 取組状況			
25年度	大原：第二期工事として整備を進め、7月に埋蔵文化財調査を実施しました。26年3月に1階上りコンクリート打設が完了し、26年10月の開館に向け、施設整備を進めました。 向丘：26年3月より、敷地廻り及び敷地内の整備を実施し、27年3月までの開館に向け、施設整備を進めました。 礪川：25年4月より基本設計を進め、8月、9月に地域住民への説明を実施しました。11月に設計を終え、26年3月に旧施設を解体し、27年3月までの開館に向け、施設整備を進めました。 音羽：福祉部にて、26年1月から介護老人保健施設整備・運営事業者の公募を実施しました。		
26年度	大原は10月27日に、礪川は3月2日に高齢者あんしん相談センターとの複合施設として、向丘は3月23日にアカデミー向丘と複合施設としてリニューアルオープンしました。 音羽は介護老人保健施設と複合施設として整備する旨の住民説明会を9月25日に行いました。公募で決定した運営事業者と基本設計の調整を行いました。オープンは、平成29年度の予定です。		
27年度			

※「礪川」は「礪川地域活動センター」、「大原」は「大原地域活動センター」、「大塚」は「大塚地域活動センター」、  
「音羽」は「音羽地域活動センター」、「向丘」は「向丘地域活動センター」の略称です。

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	233,340	666,577	737,439	28,296		
特定財源	0	0	0			
一般財源	233,340	666,577	737,439	28,296		
所要人員 B	0.20	3.00	3.00	0.60		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	1,374	20,442	20,298	4,166		
総経費 E=A+D	234,714	687,019	757,737	32,462		

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】	大原、向丘は、開館に向けた施設整備を進めました。礪川は、地域住民へ基本設計の説明を行い、旧施設の解体工事を終えました。音羽は、福祉部において、福祉センター跡地の介護老人保健施設の整備・運営事業者の公募を実施しました。		【成果】	建て替え後の礪川、大原、向丘は、施設も充実し、地域コミュニティの核として整備をしました。音羽は、計画の住民説明会と基本設計が終了し、実施設計に向けた調整を行っています。	
【課題】	大原、向丘、礪川：開館に向け、条例整備及び利用者への説明、また備品等の準備を行っていく必要があります。音羽：選定された施設整備・運営事業者と具体的な設計内容について協議を進め、地域の方々へ、設計内容を説明していく必要があります。		【課題】	音羽：関係機関・団体等と調整を図りながら、実施設計と開館後の運営に向けた準備を進めていく必要があります。大塚：新たな複合施設として整備していくためにも、関係方面と調整を図り今後の方向性を検討していく必要があります。	
達成度		26年度	27年度	28年度	
		A	A		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①	このような施設ができるのは歓迎です。（音羽） ちょっと打合せできるようなスペースがほしい。（音羽）
②	リニューアルオープンした施設では、区民向けの内覧会を実施しました。音羽では、計画の住民説明会を実施しました。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	音羽は、選定された施設整備・運営事業者と引き続き協議を進めていきます。
27年6月末	現状維持	<b>② 当初予算の増減内訳</b> 建設工事費の減 △583,619千円 初度調弁経費の減 △52,502千円 音羽設計負担金の減 △2,160千円
28年6月末		<b>③ 所要人員の考え方</b> 区民課係員2名×0.1+地域活動センター職員1名×0.4=0.6
		<b>④ 現状維持の理由</b> 施設整備の進行管理に基づき、事業を進めます。

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	196	事業名	公園再整備事業
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	まちづくり・環境		住環境
個別計画	公園再整備基本計画		
所管	土木部	みどり公園課	
目的	身近に緑や水に親しむことのできる区立公園または児童遊園を、より安全・安心で快適なものとしていくため、公園再整備基本計画に基づき、計画的に公園の再整備を行います。		
手段	公園再整備基本計画に基づき、個別の公園の再整備プランを作成し、意見交換会やアンケート調査などにより、地域の意見を反映させた公園づくりを行います。		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
再整備設計	か所	2	1	1	100%	2			2
再整備工事	か所	2	2	2	100%	1			2

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A	97,072	125,914	114,399	217,361		
特定財源	0	105,000	81,594	142,000		
一般財源	97,072	20,914	32,805	75,361		
所要人員 B	2.20	2.20	2.20	1.60		
職員1人給与 C	6,868	6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C	15,110	14,991	14,885	11,110		
総経費 E=A+D	112,182	140,905	129,284	228,471		

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
<b>【成果】</b> 25年度に公園再整備基本計画に基づき、千石公園と白山一丁目第二児童遊園の意見交換会を実施し、区民の意見を集約して、再整備プランを策定しました。また、前年度に再整備プランを策定した千石公園と丸山新町公園（旧白山一丁目第二児童遊園）は、シンボル遊具の設置を含めた全面改修工事を完了し、見通しの良い区民に親しまれる公園となって利用者が増加しています。	<b>【成果】</b> 公園再整備計画に基づき、新花公園の意見交換会を実施し、区民の意見を集約した再整備プランを策定しました。また、前年度に再整備プランを策定した千石公園と丸山新町公園（旧白山一丁目第二児童遊園）は、シンボル遊具の設置を含めた全面改修工事を完了し、見通しの良い区民に親しまれる公園となって利用者が増加しています。	<b>【成果】</b>			
<b>【課題】</b> 地域住民や多年代の公園利用者のニーズに適した公園づくりを行うため、意見交換会開催やアンケート調査などを実施し、多くの意見を集める必要があります。	<b>【課題】</b> 意見交換会の中で賛否が分かれるような意見が発生した場合は、両者が納得するような合意を導くための手法や提案が求められます。	<b>【課題】</b>			
<b>指標達成度</b>		26年度	27年度	28年度	
		A	A		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①-1	中央のケヤキとトイレの裏にあるケヤキを残す。（区民）
①-2	クジラ公園として愛称を継承した整備（区民）
①-3	道路からの見通しを良くするための整備（区民）
②	意見交換会 26年度 4回×1園、 27年度 4回×2園予定

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	公園再整備基本計画に基づいた課題の解消と地域特性に配慮した公園づくりを区民参画のもと行います。
27年6月末	現状維持	<b>② 当初予算の増減内訳</b> 新花公園埋文調査委託の増 24,840千円 公園設計委託の増 26,593千円 工事請負費の増 40,012千円
		<b>③ 所要人員の考え方</b> 公園設計0.2×4名+公園工事0.4×2名=1.6名
28年6月末		<b>④ 現状維持の理由</b> 公園再整備基本計画に基づき、区民に親しまれる公園をつくるため、計画的に整備します。

# 平成27年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	221	事業名	防災拠点としての学校（園）の機能強化
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	まちづくり・環境		災害対策
個別計画	文京区教育振興基本計画		
所管	教育推進部	学務課	
目的	①屋内運動場の天井等耐震点検を行います。 ②屋内運動場天井材の撤去を前提として調査・設計を行い、必要に応じた落下防止対策を実施します。 ③洋式便器が未設置のトイレについて、便器1箇所の洋式化を完了させます。		
手段	①屋内運動場天井等の耐震点検（小学校17校及び中学校5校） ②屋内運動場天井材の撤去を前提とした改修の調査・実施設計（小学校3校及び中学校5校） ③トイレの洋式化（小学校7校及び中学校5校）		

2 事業の指標									
指標名	単位	25年度	26年度			27年度			28年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
屋内運動場天井等耐震点検（小学校）	校	—	17	17	100%				
屋内運動場天井等耐震点検（中学校）	校	—	5	5	100%				
屋内運動場天井材撤去（小学校）	校	—	3	3	100%	3			
屋内運動場天井材撤去（中学校）	校	—	5	5	100%	5			
トイレ洋式化（小学校）	校	—	7	7	100%				
トイレ洋式化（中学校）	校	—	5	5	100%				

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A		37,120	24,210	443,144		
特定財源		0	0	395,131		
一般財源		37,120	24,210	48,013		
所要人員 B		0.40	0.40	0.40		
職員1人給与 C		6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C		2,726	2,706	2,778		
総経費 E=A+D		39,846	26,916	445,922		

4 評価					
事業の成果及び課題					
26年度		27年度		28年度	
【成果】		【成果】	①屋内運動場の天井等耐震点検を行いました。 ②屋内運動場天井材の撤去を前提として調査・設計を行いました。 ③洋式便器が未設置のトイレについて、便器1箇所の洋式化を完了させました。	【成果】	
【課題】		【課題】	①屋内運動場の天井等耐震点検結果を踏まえ、今後の対策を検討します。 ②屋内運動場等の天井材撤去等の工事を平成27年度に実施します。 ③学校施設の快適性向上事業において、トイレ改修（洋式化・ドライ化）を進めていきます。	【課題】	
指標達成度		26年度	27年度	28年度	
			A		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①非構造部材の耐震化やトイレの洋式化を実施してください。（PTA要望）	

6 今後の方向性		
時点	方向性	内容
26年6月末	現状維持	① 事業の展開内容 今年度は、屋内運動場等の天井材撤去を行います。
		② 当初予算の増減内訳 今年度、屋内運動場等の天井材撤去を行うことによる増（406,024千円）です。
27年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方 4人×0.1
		④ 現状維持の理由 今年度、屋内運動場等の天井材撤去を行うため。
28年6月末		

# 平成27年度 事務事業評価表【B様式】

1 事業の概要			
事業番号	248	事業名	公有財産の有効活用
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	行財政運営		行財政運営
個別計画			
所管	総務部	契約管財課	
目的	公有財産の有効活用により税収外の新たな歳入の確保を図ります。		
手段	区有施設内のテナントや余裕のあるスペースについて、民間事業者等への貸付を入札等により行い、業者選定や貸付料を決定します。		

2 取組状況	
25年度	区有施設内の自動販売機設置場所の貸付について、可能な限り事業者の選定を入札によって行い、貸付料を決定しました。従来、区有施設内の自動販売機の設置等については、目的外使用許可により使用料を徴していましたが、平成24年度から入札による貸付を行い、大幅な増収となりました。25年度は、24年度入札により決定した自動販売機9台の設置場所の貸付を行いました。
26年度	引続き区有施設内の自動販売機設置場所の貸付について、可能な限り事業者の選定を入札によって行い、貸付料を決定しました。平成26年度は入札により、新規の3施設で自動販売機4台分の設置場所の貸付を行い、収入増を図りました。
27年度	

3 コスト						
単位：千円	25年度	26年度		27年度		28年度
	実績	当初予算	実績	当初予算	実績	当初予算
事業費 A		0	0	0		
特定財源		0	0	0		
一般財源		0	0	0		
所要人員 B		0.10	0.10	0.10		
職員1人給与 C		6,814	6,766	6,944		
人件費 D=B×C		681	677	694		
総経費 E=A+D		681	677	694		

4 評価			
事業の成果及び課題			
26年度		27年度	
【成果】	自動販売機の設置を入札による貸付とすることにより、目的外使用料に比して、約580%（2,468千円）の大幅な増収を図ることができました。	【成果】	新規に開設する施設に、入札による自動販売機の設置場所の貸付を行うことにより、目的外使用料に比して約650%（1,489千円）の収入増加を図ることができました。
【課題】	平成24年度に実施した入札による貸付期間は、平成27年9月末までであり、今回の契約期間が完了し次回の貸付契約時における応札金額は不安定です。	【課題】	既存の区有施設内に、貸付可能な新たな場所を開拓することは困難です。
達成度		26年度	27年度
		A	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
26年6月末	現状維持	新規及び貸付契約更新時に入札を行い、増収を図っていきます。
		② 当初予算の増減内訳
27年6月末	現状維持	職員給与の増
		③ 所要人員の考え方
28年6月末		入札の準備・実施に要する人員
		④ 現状維持の理由
区有施設の余剰スペース活用のため		